

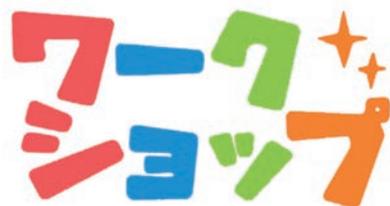


千束地区自治会連合会 発行  
 地域力推進千束地区委員会

編集長 土屋 光 一  
 事務局(千束特別出張所内) 電話 3726-4441

# 2024 大岡山北商

体験教室



6月15日(土)・16日(日)の両日、商店街のおかみさんプレゼントのワークショップが開催されました。

消防団の協力のもと、通行止めにした商店街に10個のテントを張り、

・モバイル作り(吊り下げ飾り) ・万華鏡作り ・缶バッジ制作 ・石の文鎮作り ・たたみでコースター 等々

東京工業大学生にも参加いただき、保冷剤で芳香剤を作りました。

他に島根県の物産品、美味しい西瓜の切り売りなど、暑い中、参加者の皆さんの喉を潤してくれました。

近隣の4つの小学校(赤松、清水窪、洗足池、大岡山)に声をかけチラシを配らせていただきました。3年目ともなると評判が広がり、参加整理券を9時半より配るところ8時には長い列ができ、大勢の参加者に開催の商店街関係者からはうれしい悲鳴があがりました。

数に限りがあるとチラシにも明記しましたが、参加できなかった皆様、ごめんなさい。そしてありがとうございました。

ただ両日、恒例の牛乳早飲み大会は飛び入り参加方式ですから、もの作りの各ブースにあぶれた方も参加でき大変好評をいただきました。

来年に向けて我々関係者も地域の皆様に喜んで頂けるアイデアを出し、一層の努力をして参りますので宜しくお願いいたします。



- 1 缶バッジ制作
- 2 モバイル作り
- 3 牛乳早飲み大会
- 4 保冷剤で芳香剤作り

商店街のおかみさん  
 小木 素子



## ご存じですか？シニアステーション千束

今年始め、千束特別出張所が移転し、あわせて同じフロアーにシニアステーション千束がオープンしました。高齢者の元気維持と介護予防のために、毎日様々なプログラムが組まれています。今回、ふるさと千束の川村恵美子編集委員、小木素子編集員、和泉ふみ子編集委員が体験してきましたのでご紹介いたします。

シニアステーション千束のホームページはこちら



### わのわ 健康体操

当日、指定の部屋に行き名前を書きます。参加者は10人程でそれぞれ持参のヨガマットを敷いて準備出来ていました。先生のわかりやすい説明と指導でスムーズに進んでいきます。軽い動きなのに身体がこんなに硬かったのかと思い知らされました。程よい汗をかきながら手、足を揉みほぐします。

最後に懐かしい「可愛いベイビー」の曲に合わせて右へ左へと手足を動かし終了です。気軽に参加でき楽しく身体を動かせるスポーツでした。



### 絵手紙体験教室



当日は手ぶらで教室に入ります。すでに机の上にひとりずつの教材が準備されていました。日本絵手紙協会の公認講師をされている大月ユキ先生、大月昭和先生が指導して下さいます。

まずは筆を持つ事から始まります。筆の軸の一番上を持ち垂直に立てて練習半紙に横線、縦線、曲線を書きますが手や腕が震えてうまく書けません。とてもむずかしいです。

絵のモチーフの木の葉も練習します。

次はハガキに書く本番です。下書きなしの一回勝負なので緊張します。絵を描き、文字をつけて先生に朱色の自分の名前印を押してもらおうと全体が引き締め、完成しました。

絵手紙は、絵を描き・字を書き・心のかくのだそうです。絵や字がうまくいなくても、なぜか「さま」になっていて、「いいじゃない」と心でつぶやきました。2時間があっという間に過ぎ、楽しく心弾む体験教室でした。皆さんも機会があったら是非体験してみてください。

### ポッチャ体験会

開始時間前から20人くらいの方が集まって2つのコート横に腰掛けて楽しそうにお話が弾んでいました。経験者と初心者に分かれてそれぞれのコートで試合開始です。

ルールは、簡単なので私も誘われて見様見真似で仲間に入れていただきました。ボールの投げ



方や投げる方向など相談しながら和気あいあいですが、ホワイトボードに書かれた点数をみながらの真剣勝負でした。

毎月のポッチャで集まることを楽しみにされているということでした。



## 石川町会餅つき大会

長い間自粛が続いていた町会のイベントのひとつ、餅つき大会が5月12日（日）に開催されました。

5年ぶりということで準備も大変で役員はみんな手順を思い出し確認するところから始まりました。当日はお天気にも恵まれ、心配していた準備もスムーズに進み予定より早いスタートになりました。

久しぶりの開催で町内でも初めての方も多かったようです。小さなお子さんでも初めての餅つき体験の順番待ちの列に並び、頑張ってお餅をついていました。

次々につき上がったお餅は、あんこ、きな粉、大根おろしで、集まったみなさんに無料で配られました。十分に用意したつもりのあんこなどはすぐになくなってしまふほどの盛況ぶりでした。お餅つき大会は町内の古紙回収の収益で賄われています。

今年はお正月の能登半島地震の被災地の復興支援に向けて募金箱を設置しました。皆様からの30,040円の募金は日本赤十字社を通して被災地に送られました。

皆様のご協力により、楽しい有意義なひとときを過ごすことができました。

これからも地域の催し物にぜひご参加ください。



## 和太鼓交流演奏会を開催しました！

7月6日（土）東京工業大学（現 東京科学大学）講堂で、清水窪小学校の6年生児童とNPO法人打鼓音ジュニアによる和太鼓交流演奏会が北千東北自治会主催で開催されました。

清水窪小学校は音楽授業の一環として、3年生から6年生までの児童が和太鼓を練習しています。

また、打鼓音ジュニアは横浜市の創作和太鼓集団打鼓音のジュニア部門（小学生～高校生）です。

この演奏会は、今回で3回目で地域の皆さんによる和太鼓体験演奏も行われ、会場は大変感動に包まれました。



和太鼓体験演奏会の様子

## 長年にわたり、ありがとうございました。



### 「振り返って」

### 北千束東自治会 前会長 青木 輝代

前会長から引き継いで始めは分からなかったことが多々ありましたが、皆様の助言をお聞きしながら進めてまいりました。早いもので二十年が経ちました。

町会の会員の皆様にとって頼りない会長だったと思いますが…小中学校の行事に参加させていただき、楽しいスポーツまつりの町会対抗、視察旅行など、また災害時にはどのような対策をとればよいのか、皆様のご意見をお聞きして、千束をよりよい開かれた町になるように話し合う場があると良いですね。また、気軽に話し合える町になってほしいと希望します。

とりとめのない文章になりましたが、皆様方の千束！仲の良い町、住みよい町になりますように祈念しております。今まで、お世話になりご協力いただきましたことを感謝いたしております。



### 私と自治会

### 南千束東自治会 前会長 林 義雄

私が目指し、実行してきた南千束東自治会13年の歩みを報告させていただきます。私は自治会活動に地域の方々が関心を持ち、自治会と共に歩む体制をどうすれば良いかと考え実行してきました。まず、掲示板ですが区、警察、消防等からのポスターや掲示物には必ず自治会の印を押し、空きスペースを作らないために独自の手書きポスターを作成してきました。「あいさつをしましょう」「あき巢に注意」「火の用心」「子供や孫たちに戦争の無い平和な社会を」と工夫をし実施してきました。また消費者センターや清掃事務所からの配布物で地域の方に知っておいた方が良いと感じたものは200~300枚増刷してもらいそれに自治会の印を押ししてポスティングをしてきました。更に自治会の活動状況や計画、近隣の出来事等を自治会ニュースとして2011年6月から「南千束東自治会ニュース」として毎月10日と25日に発行、回覧板とマンションには毎回ポスティングをしてきました。2024年5月、私の退任で300号となり筆をおきました。

防犯パトロールは平成17年6月に結成、スタートをしました。毎週月曜・水曜・金曜と地域安全と参加者の健康と交流のため多くの方が参加しています。最盛期には警視総監賞を受賞したり読売新聞夕刊に掲載されたりラジオ放送にも出演しました。毎年、春と秋に実施する交通安全・地域安全運動も児童公園にテントを設置し毎日4名ずつ日替わりで実施してきました。

自治会のスポーツとして健康と地域の交流のため洗足池公園こども広場で毎週木曜日にグラウンドゴルフを実施、当自治会だけではなく、他自治会からも参加、賑やかに実施中です。

平和への取組として、手書きによるポスターや自治会ニュースの中で戦争は絶対にしてはいけない事を訴え、少しでも後世に伝えていくのが我々の義務と思い、訴えてきました。人を殺し、都市を破壊する戦争はどんな事があってもしてはいけません。平和が第一！です。

ふるさと千束  
バックナンバー  
大田区ホームページで公開中です。

千束地区管内の数字	人	男	11,784人
		女	13,249人
		計	25,033人
	世帯	14,215世帯	

令和6年10月1日現在

新会長は、第70号で紹介いたします。

### 編集後記

ここ数年夏は気温36℃越えが、あたりまえになってきている。日中の野外での活動を、危険に感じることも少なくない。今年の猛暑は異常気象、降りだすとあっという間に豪雨になるところも。かつてあった夕立とは、まったく違う天候に感じる。猛暑や台風の大型化など、急激な変化に数年先の気候も予測できない状況だ。こんな中で暮らしを支えているのが進化するインフラだ。

かつて台風や大雨ではしばしば起きていた洪水が、今は排水が整備され、幸いなことにこの地域ではほとんど見られない。また工事中の赤松小学校西側の外壁の緑化が進んでいる。壁面緑化は印象的な景観をもたらすだけでなく、断熱効果もある。緑化の先駆、大岡山駅が地域のランドマークとなったように、数年後に赤松小学校が地域を潤す環境となっていくことが楽しみだ。納税者としても、最新技術で気候の変化に少しでも対抗出来る行政による様々な取り組みは大歓迎である。

H・I 記